

銅賞

オンライン見学で学んだこと（水きらら）

中村 柘矢

八女市立 岡山小学校

ぼくは、今日矢部川浄化センターオンライン見学では、いろいろなことを学びました。矢部川浄化センターは、ちくご市、八女市、みやま市、広川町といろいろな市や町の水を集めて川へおくりだしていることを知りました。矢部川浄化センターの大きさは、ペイペイドームの一・五倍もあることを知りました。矢部川浄化センターは1日に、一万二千六百立方メートルもの下水をきれいにしてることが分かりました。下水道があるとよごれた水をきれいにするから川や海がよごれず自然を守ることができるということを知りました。ぼくたちの市や町によごれた水をなくし、きれいな、市や町にすることができるということも知りました。汲み取り式トイレより快適でいいせいできなトイレを使うことができるということもしりました。

下水処理のしくみについては、まず、下水の次に、最初沈殿池の次に、反応タンクの次に、最終沈殿池の次に、砂ろ過設備の次に、紫外線消毒の次に、川へ放流という流れも知りました。しかし、最終沈殿池には、もう一つ公道がありそれは、おでいしよりしせつということが分かった。この中でも反応タンクは、下水をきれいにする一ばんじゅうような場所ということも分かりました。反応タンクには、活性汚泥（びせいぶつのあつまり）がいて、汚れをたべてくれるということもしりました。

施設の働きについては、中央監視室は、下水処理場の中の色んなき

かいをえんかくで動かしていることも分かりました。水がどれだけキレイになったかは、水質試験室で検査していることも分かりました。発生した汚泥は、肥料やセメントの材料として再利用されているということも分かりました。

海や川を汚さないことの大切さについては、まず水がないと人間も魚とかいきものは、1日も生活できない、水のじゅんかんに大きな役割を果たしている下水道は、とても大切です。その理由は、水がなかったら、ちきゅう全体の人やいきものは1人、1ぴきもいません、そのくらい水が大切ということがわかりました。ゴミやたべのこしを下水に流すと、下水管がつまる原因になります、活性汚泥（びせいぶつのあつまり）は油が大の苦手です、できるだけ下水道にはゴミやたべのこしや油は流さないようにしようと思います。

これからの自分は、ゴミやたべのこしや油は下水道に流さない。その理由は下水道にゴミやたべのこしや油をながすと下水管がつまると、自分、みんながこまりみんなにめいわくをかけてしまうから、みんなにめいわくかけないため、下水道には、ぜったいゴミやたべのこしや油はながさないようにします。